

授 業 概 要

分 野	専門分野 I	科目名	基礎看護学実習 II	担当講師	坂本 真由美 全教員
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	45時間
科目設定のねらい 基礎看護学実習 I において看護の対象である入院患者と療養環境を知り、看護活動の場と看護の仕事を知った。そして実際に観察技術・生活援助技術を適用し基本的欲求の充足をはかった。対人関係における自己の傾向に気づき、看護とは何かを考えた。2年生になり学校ではさまざまな疾病と治療、さまざまな発達段階の看護の概念や、援助論を学び、日常生活援助や診療の補助技術を学んだ。本実習では「ターゲットのエド論」に基づいて「その人」をとらえ、その人の基本的欲求の充足に向け、アセスメント・看護計画の立案・実施・評価を行う。また、対象者を取り巻く医療・看護チームの役割を理解し、学生と対象者との関係形成過程を振り返り、よりよい看護とは何か、自己の看護に対する考えを深めることをねらいとする。					
時間	単元目標	内 容			実習時期
45	1. 対象者を基本的欲求の状態、常在条件、病理的状态の視点から総合的にとらえ、「その人」を理解することができる  2. 援助の必要性を考え、対象者にあった援助を計画できる。  3. 対象者の安全・安楽・自立を考え、基本的欲求を充足させるための生活援助を実施し、評価できる。  4. 対象者を取り巻く医療・看護チームの役割について考えることができる  5. 対象者との関係形成過程を振り返り、自己の成長と課題に気づくことができる	(1) 対象者の基本的欲求を充足する生活行動としての基本的看護の構成要素をとらえる (2) 対象者の基本的欲求に影響を及ぼす病理的状态をとらえ、その原因・誘因を考える (3) 対象者の基本的欲求を左右させる心理・社会的側面(常在条件)をとらえる (4) 対象者の全体像をとらえる  (1) 対象者の援助の必要性、あるいは看護上の問題点を導き出す (2) 「その人」に合った看護計画を立案する  (1) 計画に基づいて援助を実施する (2) 実践過程において対象者の安全・安楽・自立を考慮する (3) 援助の過程及び結果を評価する  (1) 対象者にどのような人々関わっているかを説明する (2) 学生の援助過程において看護チームとの連携の必要性考え、調整する  (1) 対象者との関係形成過程を説明する (2) 自己のありようが関係形成に影響をもたらしている場面・出来事を振り返る (3) 自己の看護者としての成長、課題を説明する			2年次 11月頃
評価方法	出席時間、実習要項に準ずる				

